

○ 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第12.1の指針に基づく医学系研究の公開情報

以下の研究について、本学で実施しておりますのでお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象と致しませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究に関する問い合わせ等がありましたら、以下の連絡先にご連絡下さい。

研究課題名	子宮神経内分泌癌のMRI所見の検討—多施設共同研究
倫理審査 受付番号	第 号
研究期間	西暦2018年9月倫理審査承認日～2025年12月30日
研究対象情報の 取得期間	下記の期間に、各研究参加施設でMRI撮影後に手術された子宮の神経内分泌癌の症例 西暦2006年1月1日～2018年8月31日
研究に用いる 試料・情報	<input type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input checked="" type="checkbox"/> その他 (MRI画像)
研究目的、意義	国内の多施設で、子宮の神経内分泌癌の術前に撮影されたMRIを集め、MRI所見の特徴を解析します。
研究の方法	研究参加施設から、MRI撮影後に手術された子宮の神経内分泌癌（術前化学療法施行症例を含む。生検のみの症例は除く）のうち、神経内分泌癌の成分が100%以上のpure typeあるいは50%以上のmixed typeの症例で、臨床情報（年齢、主訴、腫瘍マーカー、生検結果、手術の病理結果、治療法と転機）の判明している症例をエントリーしてもらい、MRI所見の解析を行って、画像診断が可能な疾患なのか？通常の子宮体癌や子宮頸癌との鑑別が可能なのか？病期診断の精度や病期診断する上での注意点などを検討します。 資料の提供については、MRI画像（Dicom画像）と症例シート（Excel）は、本研究の研究責任者である、兵庫医科大学放射線科の北島一宏宛てに郵送してもらいます。

	<p>研究参加施設は下記の通り。</p> <p>兵庫医科大学放射線科（北島一宏、河中祐介）</p> <p>奈良県立医科大学 放射線科（高濱潤子）</p> <p>大阪大学 大学院医学系研究科 放射線医学教室（中本 篤）</p> <p>近畿大学医学部 放射線医学教室放射線診断学部門（松木 充）</p> <p>京都府立医科大学 放射線診断治療学（高畑暁子）</p> <p>大阪医療センター 放射線診断科（坪山尚寛）</p> <p>神戸大学 大学院医学研究科放射線医学分野（村上桌道、上野嘉子、浦瀬靖代）</p> <p>京都大学 大学院医学研究科 放射線医学講座画像診断学（木戸 晶）</p> <p>京都医療センター 放射線科（大堂さやか）</p> <p>日本赤十字社和歌山医療センター 放射線診断科（梅岡成章）</p> <p>慶應義塾大学医学部 放射線科学（診断）（陣崎雅弘、奥田茂男、富山照子）</p> <p>鳥取大学医学部 画像診断治療学分野（藤井進也、福永 健、村上敦史）</p> <p>川崎医科大学 放射線診断学教室（玉田 勉、木戸 歩）</p> <p>姫路赤十字病院 放射線診断科（三森天人、蟹江悠一郎）</p> <p>島根大学 放射線医学講座（吉田理佳）</p> <p>北海道大学 放射線診断科（加藤扶美）</p> <p>福井大学 高エネルギー医学研究センター（辻川哲也）</p> <p>鹿児島大学 放射線診断治療学教室（福倉良彦）</p> <p>山口大学 大学院医学系研究科放射線医学講座（伊東克能、田辺昌寛）</p> <p>岐阜大学 医学部放射線医学分野（五島 聡、河合信行）</p> <p>琉球大学 医学部附属病院放射線科（山城恒雄）</p> <p>山梨大学 放射線医学講座（本杉宇太郎、市川新太郎）</p> <p>信州大学 医学部画像医学教室（藤永康成、大彌 歩）</p> <p>昭和大学 放射線医学講座（扇谷芳光）</p> <p>香川大学 放射線医学講座（福田有子）</p> <p>国立がん研究センター中央病院 放射線診断科（三宅基隆）</p> <p>金沢大学 大学院医薬保健学総合研究科 内科系医学領域放射線科学（吉田耕太郎）</p> <p>東京大学 放射線医学教室（渡谷岳行）</p> <p>名古屋市立西部医療センター 放射線科（上嶋佑樹）</p>
<p>個人情報の 取扱い</p>	<p>解析も匿名化したうえで実施し、本研究参加患者やその家族に危険や不利益が及ぶ可能性はありません。患者さんから得られたデータは集積して、医学教育、医学研究発表、医学論文にて公表する予定ですが、個人が特定されることはなく、プライバシーは保護されます。</p> <p>今回収集する情報は、日常診療で実施されたデータを用いる観察研究です。匿名化したうえでデータを収集し、解析をおこなうため、新たに同意の取得は行いま</p>

	せん。なお、本研究に関してはホームページに掲載することで周知を行います。 本研究への質問や参加拒否をされる方は下記に連絡下さい。
本研究に関する 連絡先	(診療科名等) 放射線科 (実施責任者) 北島一宏 【電話】 (平日 8~17 時) 0798-45-6883 (上記時間以外) 0798-45-6111

1. The first part of the document discusses the importance of maintaining accurate records of all transactions. This is essential for ensuring the integrity of the financial data and for providing a clear audit trail.

2. The second part of the document outlines the various methods used to collect and analyze data. These methods include direct observation, interviews, and the use of specialized software tools.

3. The third part of the document describes the results of the data collection and analysis. It shows that there is a significant correlation between the variables being studied, which supports the hypothesis.

4. The final part of the document provides a conclusion and discusses the implications of the findings. It suggests that the results have important implications for the field and for future research.